月報　第 479 号　東京バッハ合唱団　2002 年 5 月
〒156-0055 東京都世田谷区船橋 5-17-21-101　Tel:03-3290-5731　Fax:03-3290-5732
E-mail:bachchortokyo@aol.com　http://www2.tky.3Web.ne.jp/~bach/chor/

《ミサ曲ロ短調》の大半はニ長調

大村 恵美子

ニ長調の曲（14 曲）

《ミサ曲ロ短調》は、通し番号にすると 27 の楽曲から成り立っていますが、その 27 曲のうち、ロ短調で書かれているのは、わずかに 5 曲だということに、お気づきでしょうか。それに比べて、ロ短調の並行長調であるニ長調は、なんと 14 曲もあって、全 27 曲の半分強を占めています。その 14 曲のうち 11 曲が、3 本のトランペットとティンパニをともなう、華々しいトゥッティの合唱曲なので、このミサ曲は、雄大で活発で圧倒的、という印象を与えるのです。

ニ長調で、例外的な 3 曲は、次のとおりです。

2) Christe〈キリストよ,憐れみたまえ〉
ヴァイオリンとソプラノ・アルト二重唱（5 分）
11) Quoniam〈そはひとり汝のみ聖〉
ホルンとバス独唱（6 分）
13) Credo〈われは信ず〉
ヴァイオリンと合唱（2 分）

2）と 11）は、大規模なもので、トゥッティの曲とはまた別の重い存在感をもち、13)は、つづく 14)の序曲的な性格ではありますが、古い様式に則ったものとして、このミサ曲全体の後半（第１部「ミサ」降終曲までが約 52 分となるので、休憩をはさんで前後に分けて演奏します）を開始するにふさわしい、やはり重みのある曲です。

ロ短調の曲（5 曲）

このように、強い光の部分をなすニ長調の14曲に比べ、ロ短調の曲は、意外にも 5 曲という少なさです。しかも、冒頭曲がロ短調であることは当然ですが、前半の終りの 12)、後半、すなわち全体の終りになる 27)、どちらもニ長調であって、ロ短調ではありません。

そのロ短調の 5 曲とは：

1) Kyrie〈主よ,憐れみたまえ〉
フルート、オーボエ・ダモーレと合唱（9 分）
9) Qui tollis〈なんじ世の罪を除く者よ〉
フルートと合唱（3 分）
10) Qui sedes〈なんじ父の右に坐したもう者よ〉
オーボエ・ダモーレとアルト独唱（5 分）
16) Et incarnatus〈しかして肉体をとりて〉
ヴァイオリンと合唱（3 分）
24) Benedictus〈祝福あれ〉
フルートとテノール独唱（4 分）

《ミサ曲ロ短調》各楽曲の調性

1. Kyrie … h	11. Quoniam … D	20. Confiteor … fis
2. Christe … D	12. Cum Sancto … D	21. Et expecto … D
3. Kyrie … fis	—	—
4. Gloria … D	13. Credo … D	22. Sanctus … D
5. Et in terra … D	14. Patrem … D	—
6. Laudamus … A	15. Et in unum … G	23. Osanna … D
7. Gratias … D	16. Et incarnatus … h	24. Benedictus … h
8. Domine Deus … G	17. Crucifixus … e	25. Osanna … D
9. Qui tollis … h	18. Et resurrexit … D	26. Agnus Dei … g
10. Qui sedes … h	19. Et in Spiritum … A	27. Dona nobis … D

ロ短調（h）… 5 曲　ニ長調（D）… 14 曲
その他の調性 … 8 曲（e 1 曲、fis 2 曲、G2 曲、g 1 曲、A 2 曲）

部分の演奏時間は約 56 分、第２部「ニケア信経」以

これら 5 曲は、みなイエスが対象となっているもので、ロ短調は「イエス・キリストの調性」なのです。

ロ短調の典型的な曲が、冒頭の 1)Kyrie〈主よ,憐れみたまえ〉で、規模としても全曲中いちばん長く 9 分もかかるものです。この 1 曲で、全体が《ミサ曲ロ短調》として強く印象づけられるのです。しかし、内容としては、２人の盲人がイエスに向かって叫びかけることば〈主よ,憐れみたまえ〉に終始していて、イエス自身の行為というのではなく、私たち人間が呼びかける（そしてそれに応えてくれる）相手としてのイエス、という実相を歌っているのです。

9)は、イエスのことを〈世の罪を除く者〉といって、1)の内容（〈主よ〉）を補足しながら、1)ではギリシャ語で呼びかけたのと同じ祈り、願い〈憐れみたまえ〉を、ラテン語で表わしています。

つづくアルト独唱 10)でも、別様に形容したイエス（〈なんじ父の右に坐したもう者〉）に向かって、〈われらを憐れみたまえ〉と訴えます。

16)は、イエスがマリアより生まれて人間となった、という、「ニケア信経」中もっとも強調されるべき、神秘的なイエスの本質を歌い、わずか 3 分という短いなかに、神の愛を凝集した形で表現します。

24)は、ニ長調の「オサナ」合唱に前後をとりかこまれて、柔和に愛をもたらした、神のいとし子イエスを、ロ短調で歌います。

これら 5 曲は、器楽もフルート、オーボエ・ダモーレ、あるいはヴァイオリンという優しい音質のもので控えめに助奏され、静かな、ゆるやかな、深みのあるものばかりで、むしろこの 5 曲を引き立てるためにこそ、14 曲もの、華やかなニ長調の讃美がとりまいていたのだ、ということが分かるのです。

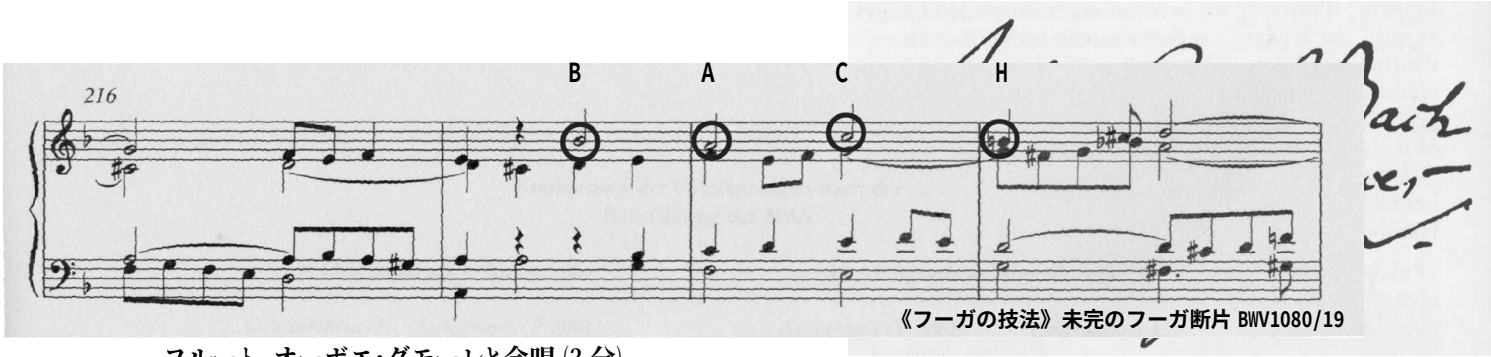
その他の調性の曲（8 曲）

ホ短調　17) Crucifixus〈十字架につけられ〉
　　フルートと合唱（3 分）
嬰ヘ短調　3) Kyrie〈主よ,憐れみたまえ〉
　　フルート、オーボエ・ダモーレと合唱（3 分）
〃　20) Confiteor〈われは言い表わす〉
　　通奏低音と合唱（5 分）
ト長調　8) Domine Deus〈主なる神〉
　　フルートとソプラノ・テノール二重唱（6 分）
〃　15) Et in unum〈一なる主〉 オーボエ・
　　ダモーレとソプラノ・アルト二重唱（4 分）
ト短調　26) Agnus Dei〈神の小羊〉
　　ヴァイオリンとアルト独唱（3 分）
イ長調　6) Laudamus〈われら汝を頌めまつる〉
　　弦合奏とアルト独唱（4 分）
〃　19) Et in Spiritum〈しかして信ず,聖霊を〉
　　オーボエ・ダモーレとバス独唱（6 分）

17)〈十字架につけられ〉こそは、イエスの調性であるロ短調であるはずだ、と期待してもよいのに、これがただ一つホ短調で書かれています。このミサ曲全体の要(かなめ)をなす位置にあるのが、この曲であるにもかかわらず、直前の 16)〈肉体をとりて…人の子と成りたまえり〉がロ短調で歌われたあと、その生涯の終りとなる受難が、5 度下（ロ→ホ）のホ短調となって、死の奈落へと連れこまれる。私の考えでは、子を世につかわした神の愛がイエスの本領で、受難は、人間を神のもとへと引き戻すために、イエスが耐えしのび「受け入れた」歴史上の一点だった、そのことをホ短調が表わしているのではないか。そんなふうに感じるのです。

そのほかの４つの調の曲も、一つ一つについてこのように見てみると、無限の味わいがあって、バッハが曲の順序、調性、楽器編成、独唱・重唱、また合唱（4 声から 8 声まで）などの選択にあたって、どれほど深い洞察と構想を重ねたか、とても奥のうかがえないほどの巨人性を思うのです。

このミサ曲を演奏するにあたって、調性の面からも、根幹をなすロ短調の意味深さ、その、ロ短調を引き立たせ、支えるべきニ長調の程よい位置づけ、要所要所に配置される、他の個性的な調の特異性の認識、などにも、配慮のゆきとどいた演奏こそが、成功の秘訣ではないかと思われます。



《フーガの技法》未完のフーガ断片 BWV1080/19

B・A・C・Hの音列

B　A　C　H

si♭　la　do　si
変ロ　イ　ハ　ロ

バッハは、この 4 音の音列を自分自身の象徴として、晩年の作品《フーガの技法》の未完のフーガ BWV1080/19 の 217 小節以下に組み入れました（前頁譜例）。因みに、このあと 20 小節ほどを書いて作曲は中断されています。

第 4 の H の短調（ロ短調）は、最初期のカンタータ第 150 番から始まって、最後の大作《ミサ曲ロ短調》に至るまで、彼の全作品の中で、特別な思いをこめた音楽として、その姿を現わすことになるのです。

「音楽監督 聖トーマス教会カントル
ヨハン･セバスティアン･バッハ」のサイン

◆演奏ご披露歓迎

出席される方々のご挨拶、団員による合唱等が予定されますが、声楽・器楽の演奏（5 分程度）もありがたく存じます。あらかじめ内容をお知らせいただければ幸いです。

◆お申し込み

ご参加申し込みは、郵便振替用紙にご記入の上、郵便局でお振込みいただくか、直接事務局へお申し込みください。

①郵便振替：００１９０－３－４７６０４
東京バッハ合唱団

②事務局連絡先
電話：03-3290-5731
FAX：03-3290-5732
E-Mail：bachchortokyo@aol.com

東京バッハ合唱団創立 40 周年記念祝賀会のお知らせ

日時　2002 年 7 月 2 日（月）18:30－20:30
会場　目白聖公会（JR 山手線・目白駅下車 5 分）
会費　4000 円（要予約）

今年は、東京バッハ合唱団創立 40 周年の記念すべき年となりました。

この合唱団が 40 年も続くなど、誰が想像していたでしょうか。その間、ずっと支え続けてきてくださった方々、様々な事情で離れ、また復帰され、あるいは次世代へ引きつがれた方。数えればきりのないほど多くの方々の人生が、この合唱団に関わりをもってきました。

どんないきさつがあれ、この 40 周年の記念会に、一堂に会して顔を見合わせられたなら、どんなに幸せなことでしょう。

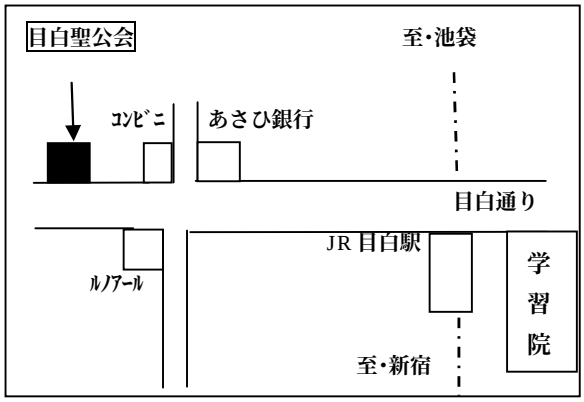
当日は、主宰者と現団員一同、皆様の御出席を心よりお待ちしています。

◆出席者全員の方々に、近日発行の『東京バッハ合唱団 40 年史』（仮題）をお持ち帰りいただきます。

◆当日のご参加

合唱団の団員、団友、後援会員以外の一般の方々のご参加も歓迎いたします。

また、予約なしのご来場にも、例外的に応じられますが、会食準備の都合上、なるべく前日までにご連絡いただけますようお願いします。

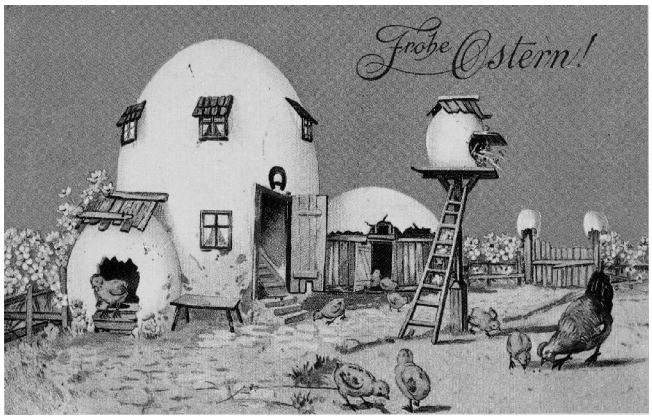


第 19 回＜ばっはめいと＞夏の演奏会

日時　2002 年 7 月 21 日（日）10:30－12:30
会場　経堂ヤマハミュージック
（小田急線経堂駅南口“ ピーコック ”3 階）
入場無料
光野孝子（ソプラノ）
小田幸子（ヴァイオリン）
宮崎美枝子（箏）
その他の出演による、声楽・器楽のジョイントコンサートで、東京バッハ合唱団関係者が多数出演

出演者募集
①独唱・重唱・独奏・アンサンブル
新しく参加を希望される方も受付けています。
②バッハ「宗教歌曲」コンテスト
大村恵美子訳詞『J.S.バッハ宗教歌曲集』の中から 1 曲または 2 曲の、3 節程度を歌う（節の選択は自由）。参加者のうち 3 名に上記楽譜を贈呈。

募集要綱
□資格　個人レッスン受講者・合唱団員・音楽学生・専門家のほか、当日の演奏曲を集中学習した方でもよい。
□曲目　バッハ「宗教歌曲」をのぞいては、自由。演奏時間 10 分以内を厳守。
□参加費
「宗教歌曲」のみの場合　3,000 円
その他の場合　10,000 円
（「宗教歌曲」を併せて歌う場合も同じ）
□手続き　事務局あて、氏名・住所・曲目・伴奏者名を、参加費を添えて提出。
□申込み締切り　6 月 30 日
□申込み先　＜ばっはめいと演奏会＞事務局
東京バッハ合唱団内



野尻湖･神山教会特別演奏会

2002 年 8 月 3 日（土） 19:00 開演

プログラム
J.S.バッハ
カンタータ第 124 番〈イェス ともにあらん〉
カンタータ第 104 番〈牧人 主よ きけよ〉
カンタータ第 150 番〈なれを 主よ われは仰ぐ〉
ハチャトゥリアン
〈クラリネット、ヴァイオリン、ピアノのためのトリオ〉

演奏者
クラリネット＝内山厚志 ヴァイオリン＝小田幸子
ピアノ＝内山亜希
合唱＝東京バッハ合唱団 指揮＝大村恵美子

入場無料
お申込み／お問合せ先：東京バッハ合唱団

◆東京バッハ合唱団は、8 月 1 日(木)から 4 日(日)、長野県・野尻湖レイクサイドホテルで、3 泊 4 日の合宿をおこない、3 日（土）の午後 7 時に、対岸の神山教会で特別演奏会を開きます。
この合宿には、後援会員をはじめどなたでもご参加いただけます。参加または演奏会当日のみの宿泊をご希望の方は、あらかじめ合唱団事務局にお申し出くだされば、詳細をご案内します。
（宿泊先および神山教会のもより駅は、JR 信越本線の「黒姫」駅または「妙高高原」駅です）